

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で [gpjimu@asj.or.jp](mailto:gpjimu@asj.or.jp) 宛、なお、原稿も必ず 0422-31-5487 迄 Fax でお送り下さい。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

筑波大学計算物理学研究センター  
COE 研究員公募

1. 研究員 1 名
2. (1) 筑波大学計算物理学研究センター  
(2) 茨城県つくば市天王台 1-1-1
3. 理論宇宙物理学
4. 観測との繋がりを視野に入れた数値的及び解析的研究の推進
5. (1) 平成 13 年 4 月 1 日  
(2) 1 年（状況によって、2 年目迄の延長がありうる）
6. 平成 13 年 4 月 1 日現在年齢 35 才未満で、博士の学位を有する者又は博士の学位取得が確実な者
7. ○履歴書  
○発表論文リスト。共著論文の場合は共著者名を明記すること。また、主な論文別刷の番号には○印をつけること  
○主な論文別刷  
○研究歴  
○研究計画  
○本人についての意見を求め得る 2 名の氏名及び連絡先

8. 平成 13 年 1 月 26 日(金)必着
9. (1) 〒 305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1  
筑波大学計算物理学研究センター長 宇川 彰  
(2) 筑波大学計算物理学研究センター 梅村雅之  
Tel: 0298-53-6494  
Fax: 0298-53-6489  
E-mail: [umemura@cccp.tsukuba.ac.jp](mailto:umemura@cccp.tsukuba.ac.jp)
10. 封筒の表に「COE 研究員応募書類在中」と朱書のこと
11. 一般職の非常勤職員に任用され、月額約 30 万円の給与が支給される（経歴等により若干の増減がある）

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教官  
公募

1. 助手 1 名
2. (1) 天文宇宙学大講座  
(2) 東京都文京区本郷 7-3-1
3. 天文学
4. 天文学専攻には現在、銀河天文・観測的宇宙論、超新星爆発・宇宙化学進化論、太陽恒星物理・日震学、太陽物理学、赤外線天文学、恒星系力学などの研究グループ（理論及び観測）があります。（詳しくは <http://www.astron.s.u-tokyo.ac.jp> をご覧下さい）。これらのグループと連携をとりつつ研究を進められる方を求めます。大学院及び学部教育も担当していただきます。
5. 採用決定後出来るだけ早い時期
6. 修士号取得者またはそれと同等以上の業績を有する者
7. (1) 履歴書(写真添付)、(2) これまでの研究概要、(3) 業績リスト、(4) 主要論文別刷(3 編以内)、(5) 着任後の研究計画と抱負、(6) 本人について意見を述べられる人 2 名(国内外を問わない)の氏名と連絡先
8. 2001 年 1 月 31 日(水)必着
9. (1)、(2) 〒 113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻  
専攻長 岡村定矩  
Tel: 03-5841-4257  
Fax: 03-5841-7644
10. 封筒に「助手応募書類」と朱書きし、直接持参するか、簡易書留で郵送のこと。

国立天文台

地球回転研究系教授 (VLBI 天文学分野)

1. 教授 1 名
2. (1) 地球回転研究系, (2) 岩手県水沢市
3. VLBI 天文学
4. 建設中の VERA (天文広域精測望遠鏡) の立ち上げ, データ解析システムの開発から試験観測を含むプロジェクトの完成に指導的役割を果たすとともに, VERA 等による位置天文学, 銀河動力学の研究成果創出を, 国際的な視野をもってリードする教授を求めます.
5. 平成 13 年度のなるべく早い時期
6. 大学院博士課程終了またはそれと同等以上
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) および主要論文の別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先
8. 平成 13 年 2 月 13 日(火)必着
9. (1) 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 海部宣男  
(2) 〒 023-0861 岩手県水沢市星ガ丘町 2-12  
地球回転研究系主幹 河野宣之  
Tel: 0197-22-7122 Fax: 0197-25-6619  
E-mail: kawano@miz.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「地球回転研究系教授(VLBI) 応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留でお送りください.  
なお選考は, 国立天文台運営協議委員会において行います.

地球回転研究系教授 (地球・惑星科学分野)

1. 教授 1 名
2. (1) 地球回転研究系, (2) 岩手県水沢市
3. 地球・惑星科学分野
4. 現在地球回転研究系では, 重力・潮汐・地形など測地学的手法による月・惑星の研究 (RISE 計画) の推進と共に, 月面での天文観測も視野に入れた将来構想の検討も進めています. これらの計画を強力に推進すると共に, 国際協力を進め, 月・惑星科学の新しい研究分野の開拓をリードする教授を求めます.
5. 平成 13 年度のなるべく早い時期
6. 大学院博士課程終了, 又はそれと同等以上.
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容

の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) および主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他, 前記事項(1)-(5)の概要がわかる書類

8. 平成 13 年 2 月 13 日(火)必着
9. (1) 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 海部宣男  
(2) 〒 023-0861 岩手県水沢市星ガ丘町 2-12  
地球回転研究系主幹 河野宣之  
Tel: 0197-22-7122 Fax: 0197-25-6619  
E-mail: kawano@miz.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「地球回転研究系教授 (RISE) 応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留でお送りください.  
なお, 選考は国立天文台運営協議委員会において行います.

光学赤外線天文学・観測システム研究系  
教授または助教授

1. 教授または助教授 1 名 (応募書類に明記のこと)
2. (1) 国立天文台・光学赤外線天文学・観測システム研究系, (2) 岡山天体物理観測所
3. 光学赤外線天文学
4. 岡山天体物理観測所は, 光赤外分野では国内唯一の本格的共同利用施設として, 長期にわたり重要な役割を担ってきました. すばる望遠鏡が共同利用を開始した状況にあっても, 国内でのさまざまな観測と開発の拠点として, また大学院生等の教育に資する国内施設として, 今後とも重要な施設と位置づけられます. 近赤外観測の継続や可視高分散分光器 HIDES の完成など観測所の現況を踏まえ, また諸大学との連携協力の道を探りつつ, 望遠鏡や観測装置の革新を視野において観測所の新たな活性化を進める方針です. 以上の方針を踏まえ, 岡山天体物理観測所の運営に責任を持ちつつ, 同観測所の将来を見据えて新たな望遠鏡や観測装置の計画に積極的に取り組んでいただける教授または助教授を求めます.
5. 平成 13 年度のなるべく早い時期
6. 大学院博士課程終了, 又はそれと同等以上.
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) および主要論文の別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先

8. 平成 13 年 2 月 13 日(火) 必着  
 9. (1) 〒 181-8588 三鷹市大沢 2-21-1  
 国立天文台長 海部宣男  
 (2) 〒 181-8588 三鷹市大沢 2-21-1  
 光学赤外線天文学・観測システム研究  
 系主幹 家 正則  
 Tel: 0422-34-3520 iye@optik.mtk.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「光赤研究系教授または助教授応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易速達でお送り下さい。  
 なお選考は、国立天文台運営協議員会において行います。

### 人事公募結果

#### 東京大学大学院

##### 理学研究科天文学教育研究センター教官

1. 第 93 巻 4 号
2. 宮田隆志 (RCUH)
3. 2000 年 10 月 1 日

#### 東京大学大学院

##### 理学研究科天文学教育研究センター教官

1. 第 93 巻 5 号
2. 土井 守 (東大天文学教室助手)
3. 2000 年 11 月 16 日

#### 東京工業大学院理工学研究科教授

1. 第 93 巻 8 号
2. 河合誠之 (理化学研究所副主任研究員)
3. 2000 年 11 月 1 日

### 研究助成

#### (財)天文学振興財団平成 13 年度研究助成公募

当財団では、国立天文台の事業支援等を通じて天文学の振興を図っております。当財団の平成 12 年度の研究助成は、衣笠健三 (県立ぐんま天文台) 及び高橋順子 (国立天文台) の 2 氏 2 件に対して計 200 万円を交付しました。

平成 13 年度の研究助成希望者を下記の要領で公募します。

平成 12 年 11 月 20 日

(財)天文学振興財団 理事長 小平桂一

1. 公募種目
  - (1) 研究助成
    - a. 対象：天文学に関する優れた研究活動を行おうとする個人又は団体の代表者、原則として 35 才以下
    - b. 助成：総額 200 万円とし、助成件数は 1～2 件程度
  - (2) 国際交流に対する助成
    - a. 対象：天文学に関する海外での国際交流活動 (1 ヶ月以内) に平成 13 年 4 月以降参加する研究者
    - b. 助成：派遣に要する往復航空賃 (実績平均 1 件当たり 19 万円程度) 及び滞在費の一部とし、助成件数は数件程度
  - (3) 国際研究集会参加に対する助成
    - a. 対象：平成 13 年 4 月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会 (10 日以内) に参加、発表する研究者
    - c. 助成：派遣に要する往復航空賃 (実績平均 1 件当たり 15 万円程度) とし、助成件数は数件程度
2. 申込期限：(1) は平成 13 年 1 月末日、(2) (3) は平成 13 年 5 月末日、9 月末日平成 14 年 1 月末日 (計 3 回)
3. 選考結果：選考委員会で審査の上、採択の可否については、各申込期限の約 1 ヶ月後に文書で通知します。
4. 報告：研究助成は、年度末、それ以外の助成は、帰国後 1 ヶ月以内に報告書を提出して頂きます。
5. 申請：申請書は事務室あてに請求して下さい。
6. 問い合わせ先：(財)天文学振興財団事務室  
 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
 国立天文台内  
 Tel: 0422-34-8801  
 Fax: 0422-34-4053

#### 平成 13 年度宇宙環境利用に関する 地上研究公募のご案内

国際宇宙ステーションの宇宙における組立 1998 年 11 月から開始され、本格的な宇宙環境を利用する時代を迎えようとしております。宇宙環境では、微小重力や高真空等地上では得がたい環境の下で、実験を実施することができます。我が国は、国際宇宙ステーション計画に独自の実験棟「きぼう」をもって参加しており、今後、このような宇宙環境を利用する機会が飛

躍的に増大することになります。一方、地上での広範な分野の研究を宇宙環境を利用する実験に結びつけ、更には具体的な宇宙実験の提案・実施に至るまで地上における関連研究の蓄積が必要です。本制度は、このように「きぼう」を中心とした宇宙環境を利用する準備段階として、幅広い分野の研究者に研究機会を提供し、宇宙環境利用に関連する地上研究を推進することを目的としています。

■公募制度の概要

大学、国立試験研究機関、民間企業などの研究者の方々を対象に幅広く研究テーマを募集します。

●応募資格

応募者の国籍、所属機関の所在地（国内外）は問いませんが、日本語による応募及び面接に対応できる語学力を必要とします。

●公募対象研究分野

微小重力科学、微小重力物理学、生物科学、バイオメディカル、宇宙医学、宇宙科学、地球科学、宇宙利用技術開発の8分野

●研究費、研究期間

- ・フェーズⅠ研究（A）研究費：3千万円以下／年  
研究期間：1～3年
- ・フェーズⅠ研究（B）研究費：6百万円以下／年  
研究期間：1～3年
- ・フェーズⅠ研究（B）萌芽の研究 研究費：150万円以下（総額） 研究期間：1.5年
- ・フェーズⅡ研究 研究費：1億円以下／年 研究期間：1～3年

●選定

財団法人日本宇宙フォーラム内に、有識者によって構成される委員会を設置し、応募された研究テーマの選定等を行います。

●研究形態

研究形態としては、委託研究（大学、企業）、共同研究（国立研究所）、招聘研究の形態をとります。

●実験施設、試験施設の提供

研究の必要に応じて調整の上、落下塔、航空機の微小重力模擬実験施設等の利用機会を提供いたします。

●スケジュール

- ・応募要領等の発送およびHPへの掲載は1月上旬を予定しております。
- ・応募受付締め切り：平成13年2月28日(水)消印有効
- ・研究開始：平成13年8月～

●問い合わせ先：財団法人日本宇宙フォーラム

公募研究推進部 募集担当

Tel: 03-3459-1653 Fax: 03-5470-8426

URL: <http://www2.jsforum.or.jp/>

E-mail: [koubo@jsforum.or.jp](mailto:koubo@jsforum.or.jp)

山田科学振興財団研究援助候補推薦

山田科学振興財団より本会宛に、下記内容の2001年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。

(推薦要項抜粋)

1. 援助の対象：自然科学の基礎的研究（実用指向研究は対象外）

◎選考に当たり特に配慮される点

- イ. 萌芽的研究
- ロ. 大学に新研究室を創設して間もない場合
- ハ. 学際性の豊かな研究
- ニ. 国際協力研究

2. 援助の金額：1件当たり100～500万円の援助を10件。(援助金の使用期間は贈呈した年度及びその次の年度の計2年間とします。)

3. 推薦件数：1学会ごとに2件以内。

1999年度は、中井直正氏他協同研究者7名に200万円研究援助されました。

★申請用紙をご入用の方は、学会事務室までお申し出下さい。申請書は、2001年3月1日までに下記宛に提出して下さい（学会推薦になっています）。

宛先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359 Fax: 0422-31-5487

研究会・集案案内

「銀河学校 2001」生徒募集

東京大学木曾観測所は、自然科学に興味を抱いている高校生を対象に、2001年4月3(火)～5(木)日、第4回銀河学校を開きます。参加者は観測所に泊り込み、天文学者と一緒に、口径105cmシュミット望遠鏡を使って観測を行ないます。所員と共にデータ解析を行ない大学での研究活動を体験したり、参加者どうしの交流を深める交歓会を行ないます。参加を希望される方は、下記の要領で応募して下さい。

期日：4月3日(火)13時30分 JR 木曾福島駅前集合  
～5日(木)15時 JR 木曾福島駅前解散

場所：長野県木曾郡三岳村 10762-30

東京大学木曾観測所

対象：平成13年度高校生12名

費用：交通費＋滞在費4000円(食事代＋傷害保険料)

応募方法：800字程度の作文を提出

課題名「私が一番不思議に思う事」

郵便番号、住所、氏名、生年月日、性別、

電話番号、学校名、学年を明記して下さい。

応募メ切：2001年2月28日(水)必着

宛先：〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

東京大学木曾観測所

選考結果：3月中頃までに各人宛通知

問い合わせ：木曾観測所

Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361

ホームページ：http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/

## 2001年アジア・太平洋電波科学会議

2001 Asia-Pacific Radio Science Conference

(AP-RASC '01)

会期：2001年8月1日(水)～8月4日(土)

会場：中央大学理工学部（東京都文京区春日 1-13-27）

主催：

(1)日本学術会議電波科学研究連絡委員会 および

(2)社団法人電子情報通信 ((1)と(2)の共同主催)

協催：国際電波科学連合 (URSI)

協賛：応用物理学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、

電気学会、日本エムイー学会、日本生体磁気学会、

日本測地学会、日本大気電気学会、日本天文学会、

日本物理学会、日本リモートセンシング学会、レーザー学会、

IEEE日本カウンシル、宇宙開発事業団、宇宙科学研究

所、通信総合研究所、電気電子情報学術振興財団

論文投稿締切：2001年1月31日(水)

事前登録：2001年2月1日(木)～5月31日（早割  
引料金）

2001年6月1日(金)～7月上旬（通常料金）

お問い合わせ先：

AP-RASC '01 事務局／(株)リアライズ社

担当：久末（ひさすえ）、相澤

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-4

コスモス本郷ビル 8階

Tel: 03-3815-8552 Fax: 03-3815-8529

e-mail: aprasc@oak.ocn.ne.jp

URL: http://www.kurasc.kyoto-u.ac.jp/ap-rasc/

## その他

### 五島プラネタリウム卒業文集

#### 原稿募集のお知らせ

渋谷の天文博物館五島プラネタリウムが来春閉館します。五島プラネタリウムは44年にわたって天文学の教育普及活動を行ってきました。この功績をたたえ、秋の年会では感謝状が贈られました。天文学会会員の皆さんの中にも五島プラネタリウムで天文学の基礎を学ばれた方も多いのではないのでしょうか。そうしたファンの立場から五島プラネタリウムへの感謝の気持ちをこめての『卒業文集』をつくります。小さなエピソードでもかまいませんので、下記の宛先まで電子メールか郵送で原稿をお寄せください。詳細については五島プラネタリウムロビーにおかせていただいているちらしか以下のホームページをご参照ください。

http://member.nifty.ne.jp/MIWA/goto/bunsyuu/

字数：800字から2000字程度

締切：平成13年3月13日

宛先：〒150-8944 東京都渋谷区渋谷 2-15-1

ストックプラス 338

五島プラネタリウム卒業文集制作委員会

代表 齊藤美和

電話：090-8503-6195

e-mail: studio.miwa@nifty.ne.jp

\*職種と所属も掲載します。連絡先も忘れずご記入ください。

\*万が一（郵便事故等）のため原稿の控えをとってからお送りください。

\*この文集制作について(財)天文博物館五島プラネタリウムは関係していません。プラネタリウムへの問い合わせはしないでください。

五島プラネタリウム

私設ファンクラブ卒業文集制作委員会

発起人 伊藤哲也（東大理物理在学）

会務案内

日本天文学会評議員会 議事録

日 時：2000年10月6日(金) 12時00分～13時00分

場 所：群馬県総合教育センター 701号室

出席者：家，池内，石黒，木下，小杉，佐藤(勝)，高津，谷口，長谷川，渡部，井上，上野，奥田，加藤，  
小山，福島，観山 以上17名

欠席者：佐藤(修)，中村，野本，林，松田，岡村，海部，小平，鈴木，須藤，高原，福江，吉田 以上13名

有効委任状提出者：佐藤(修)，野本，岡村，海部，鈴木，須藤，吉田 以上7名

他に理事会から尾崎理事長，大石理事，柴田理事，立松理事，原事務長が出席

議事に先立ち，議長に加藤万里子氏を，署名人に小杉健郎氏，渡部潤一氏を選出した。

議事の経過及び結果

1. 大石庶務理事より，学会事務室が国立天文台旧テープ保管庫に引越した事，PASJの新しい印刷会社，販売委託への移行が順調に進んでいること，1999年度研究奨励賞推薦理由の改訂が理事長と前回評議員会長の奥田氏によって確認されたこと，および，10月4日に実務理事会を開催して未納会費徴収の方策について話し合ったことが報告された。
2. 大石庶務理事より，前回(2000年7月15日)の評議員会議事録が報告され，承認された。
3. 大石庶務理事より，秋季総会の議案について説明があった。また10月4日に開催した記者会見について，発表は5件であることが報告された。
4. その他
  - (1) 観山評議員より，科研費分科細目の見直しが進んでいる件の背景について説明があり，多くの意見交換を行なった。さらに意見・要望がある場合は観山氏に申し出ることとなった。
  - (2) 池内評議員より，平成13年度の科研費審査員候補の推薦を行なったが，同一大学から複数の候補者を推薦しないで欲しいとの要請が学術振興会から来た。これに対応するため，以前の推薦投票結果を踏まえて，池内氏，尾崎理事長，大石庶務理事で相談して推薦候補を選ぶ方針が確認された。平成14年度以降の推薦に当たっては，天文研連委員長と庶務理事とで相談しながら推薦することを確認した。
  - (3) 立松会計理事より未収会費徴収に向けた方策案として，「督促手数料」を導入することが提案された。基本的な方向は承認されたが，法律的な問題がないことを確認すること，導入にあたってのスケジュールを示すこと，周知徹底を図ること，学生会費の取り扱いについてさらに検討すること，が要望され，理事会でさらに検討を重ねて，2001年春季年会の議題とするように努力することが確認された。

2000年10月13日

議 長	加藤万里子	印
署名人	小杉健郎	印
署名人	渡部潤一	印

## 理事会 議事録

日時：2000年10月7日(土) 12時00分～13時00分

場所：群馬県総合教育センター 701号室

出席者：尾崎、家、小山、柴田、大石、立松、紀伊、吉川、有本、上野、沢、大谷、山岡、牧島、橋本

出席者 15名

欠席者：なし

他に、千葉大学の松元亮治氏と原事務長が参加した。

議事に先立ち、署名人を選出した

議長：尾崎洋二 署名人：柴田一成、大石雅寿

## 議事の経過及び結果

1. 前回(2000年7月8日)の理事会議事録が報告され、承認された。また、大石庶務理事より、10月4日に実務理事会が開催されたこと、学会事務局が国立天文台旧テープ保管庫に引越したことが報告された。また、立松会計理事より、PASJの新しい印刷会社、販売委託への移行が順調に進んでいることが報告された。また、立松会計理事より、PASJのコピーエディター体制を強化するため1名増やしたことが報告された。また、立松会計理事より、PASJへの投稿数が増えていることを考慮し、2000年度のPASJ総ページ数を400ページほど増やす措置を取ったことが報告された。
2. 2000年秋季年会について吉川年会実行委員長から報告があった。10月7日正午時点での年会登録者は632名である。講演数は431であり、その内訳は口頭発表(15分)が237、口頭3分+ポスターが160、ポスターのみが34である。講演キャンセルは2件、ポストデッドラインペーパーは1件であった。記者会見には7-8社の報道機関が参加した。懇親会参加者は190名ほどであった。保育室の利用も延べ5名ほどであった。今回は教育フォーラムや年会発表へのマスコミ取材も多かった。
3. 2001年春季年会の準備状況について千葉大学の松元亮治氏より報告があった。会期は2001年3月26-28日を予定し、記者会見と公開講演会は3月25日となる。ポスター会場の確保に努めている。保育室用の部屋の確保も進めている。また吉川年会実行委員長より、第2回ジュニアセッションと企画セッションも行なうことが報告された。会員からの要望として、座長の名前を表示すること、質問する際に名前・所属を述べて欲しいということが紹介され、座長名の表示については工夫することとなった。また、15分講演とポスタープレビュー講演を組み合わせた現在の形式は定着してきた感があるが、15分講演を10分講演にしてもっと数を聞きたいという声もあることが紹介され、年会実行委員会で検討することとなった。
4. 新正会員の名簿が大石庶務理事より示され、7名の新規入会と2名の準会員から正会員への移籍が承認された。
5. 未納会費を減らすための会費納入方法の改善について、立松会計理事が「督促手数料」を導入することを提案した。種々議論の後、理事会としては細則の改訂は必要ないと考え、会員の広範な考え方を考慮し、細則改訂をする案、しない案も含め、さらに検討を重ねることとなった。
6. 理事・監事の交代にあたり、新旧合同理事会を2001年1月13日に開催することが確認された。また、申し送り事項として、年会実行方法の改訂検討、プラネタリウムなど天文普及活動機関の支援案の検討、未納会費徴収策の検討、PASJに関連するUAPへの対応、が挙げられた。
7. その他
  - (1) 吉川年会実行委員長から、年会時の登録料免除対象者として、年会運営の負荷がかかる理事長、庶務理事、年会実行委員長、天文教育理事、年会開催地理事としたいこと等が提案され、了承された。
  - (2) インドネシアが開催を希望していたIAUアジア太平洋地域会議が開催できなくなったため、今回の同会議は日本が開催することとなる。これに備え、IAU記念基金の凍結を継続する方針が承認された。
  - (3) 立松会計理事より備品の貸し出しルールに関する素案が提示された。原則貸し出し禁止とするが、天文教育研究に関連し、学会業務に支障がない場合に理事の判断で貸し出しをしてもよいこととなった。例えばポスターボードの貸し出しの場合は、減価償却分を考慮して貸し出し料は1枚あたり1000円とする事となった。
  - (4) PASJの表紙、電子投稿用スタイルファイルを次年度から改訂することが有本理事から報告された。
  - (5) 次回の理事会・評議員会の予定を以下のように決定した。
 

理事会：2001年1月13日(土)

評議員会：2001年1月27日(土)

議長 尾崎洋二 印  
署名人 柴田一成 印  
署名人 大石雅寿 印

●事務室だより●

会費納入のお願い

天文学会は主に会員の皆様から納入される会費によって運営されております。天文学会は会計年度が1月～12月です。前納をお願いしていますので早い内での2001年度会費を納入して下さい。年会費納入時に、春・秋季年会予稿集の予約をしている方は予稿集代金も加算してご納入下さい。予約されている人は、天文月報の郵送封筒の宛名の下段に“予”の字が印刷されています。(予稿集の予約は中止のお申し出がない限り自動的に継続されます)

尚、2000年度会費の未納の方は2001年3月発行の刊行物より発送を中止致しますが、退会のお申し出がない限り会費の支払い義務は有ります。

正会員 (一般・予稿集あり)	22,000円/年
正会員 (一般・予稿集なし)	18,000円/年
正会員 (学生・予稿集あり)	17,000円/年
正会員 (学生・予稿集なし)	13,000円/年
準会員 (予稿集あり)	12,000円/年
準会員 (予稿集なし)	8,000円/年

※学生の方は学生証又は在学証明書のコピーをお送り下さい。お送り頂かない時は正会員(一般)扱いとなります。

◎銀行口座引き落とし登録の方は、1月10日(金融機関が休業日に当たる時は翌営業日)にご指定口座より引き落とします。(登録されている方は封筒表の宛名の所に\*J\*と印字されています)

◎今月号に郵便振替用紙を同封していますのでご利用下さい。銀行振込をご利用の方は  
東京三菱銀行三鷹支店 普通 4434400  
社団法人日本天文学会へご送金下さい。

◆会費の領収書が必要な方は葉書、電話、Fax、メール等でお申し出下さい。

◆会員の方々の管理は会員番号によっておりますので会員番号を必ず明記して下さい。

◆住所、所属、刊行物送付先等の変更のある方は郵便振替の通信欄を、その他の方法で会費をご送金の方は、葉書又はFaxでご連絡下さい。

◆当該年度会費を未納で、かつ、年度途中で退会を希望する方は退会時清算として、年度開始後(1月以降)お送りした刊行物の代金をお支払い頂きます。

天文月報 1冊 700円

欧文報告 1冊 3,465円

◆住所変更は毎月10日までに受け付けた分は新住所へ刊行物をお送りします。11日以降は翌月より新住所への発送となります。

「事務長が交替します」

1996年6月より、前事務長高地 厚氏の後を引き継ぎました原 寿男が天文学会事務内規により、12月31日をもって定年退職(70歳)することになりました。この間、会員の皆様からご支援とご懇情を賜りまして有り難うございました。

後任には、前野辺山宇宙電波観測所勤務の東條 新が就任します。前事務長と同様ご支援ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

事務室のスタッフは、

事務長：東條 新

庶務・会計係：塩見道子、岩瀬ミチ、大場朋子  
欧文研究報告係：近藤雅之、竹田洋一、村田英美、黒岩真秀

天文月報係：山崎利江、峯尾由紀子

年会係：長谷川直子が担当します。

今後ともご指導ご鞭撻の程をお願い致します。

原 寿男、東條 新

編集委員 上野宗孝(編集長)、伊藤孝士、大橋正健、小野智子、斎藤芳隆、田村元秀、土橋一仁、内藤統也、和田桂一  
平成12年12月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷  
定価 700円(本体 667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [gpjimu@asj.or.jp](mailto:gpjimu@asj.or.jp)